



McHale

PROGLIDE | モアシリーズ

マッケール社は農業機械小売店から進化しましたが、それは今日でもまだ存在しています。この背景は、末端顧客から直接得られる情報や要望を取り入れた農業機械の設計と、製造のための優れた基礎の提供です。農業機械の製造はレーザーとロボット技術の最先端製造技術を利用し、ISO 9001/2008の認定を受けて運営する施設内で行われます。

すべての研究開発は、最先端の技術を多用して社内ですべて実施されています。機械は製品開発プロセス中に厳しい試験を受け、機械の性能は常に監視されます。その結果、最高の品質、仕様、設計の製品がお客様に提供されます。マッケール社製品は、正に「未来への投資」です。



991B



998



V660



F5000



Fusion 3

McHale

Ballinrobe,
Co. Mayo, Ireland

T. 353 (0) 94 95 20300

F. 353 (0) 94 95 20356

E. sales@mchale.net

お問い合わせ:

www.mchale.net

免責事項
このカタログは世界的な流通のために設計されています。継続的な製品改良の方針により、当社は予告なしに仕様および構造を変更する権利を有します。機械がさまざまな国に輸出されるにつれて、一般的な情報、写真、および説明が提供されます。これらはおよそのものであり、標準仕様の一部ではないオプションの機器を含むことがあります。詳細については、お近くの販売店または代理店にお問い合わせください。

McHale PROGLIDE

モアシリーズ



www.mchale.net

プロファーマーの選択



PROGLIDE R3100

プログライド - F3100フロント、R3100リヤおよびB9000コンビネーションモア

毎年マッケールのベラーは、世界トップファーマーやコントラクターのために、7,500万ベール以上の飼料生産に貢献しています。

この飼料価値を最大限確保するためには、糖分含有量が高い作物をモアで綺麗なカッティングを行い、不純物を含まない高品質の飼料を提供することが重要です。

マッケール設計チームは、作物収穫、エネルギー、技術等のノウハウに関する専門知識を結集して、マッケール“プログライド”のモアを開発しました。

“プログライド”のモアには、次のような特長を備えています。：

- 優れたフローテーション
- カッターバー角度の自動調整
- 一定したカッターバーの接地圧
- 補強されたカッターバープロテクション
- 最適なコンディショニング
- 綺麗で均一なスワース
- より高い生産性
- 最適な搬送位置
- 優れた作業視界性



PROGLIDE F3100

McHale PROGLIDE モアシリーズ

F3100



R3100



B9000



McHale フロントモア



PROGLIDE F3100

標準仕様

- 一体型サスペンションを備えたチューブフレーム
- スプリングが優れた圃場追従能力を提供
- カッターバー角度の自動調整
- 特許取得済みの一定した接地圧
- 17度の横移動（左右移動）
- 500mmの可動範囲（上下運動）
- 枕地持上げ時のクリアランスが600mmを超える優れた性能
- 折り畳み可能なガードがカッターバーへの最適なアクセスを提供
- 狭い搬送幅で優れた視界を実現



McHale PROGLIDE

フロントモアサスペンション

3次元動作による圃場追従テクノロジー

マッকেールプログライドのフロントモアのサスペンションは、カッターバーがトラクターのフロントリンケージから独立して動くことを可能にします。

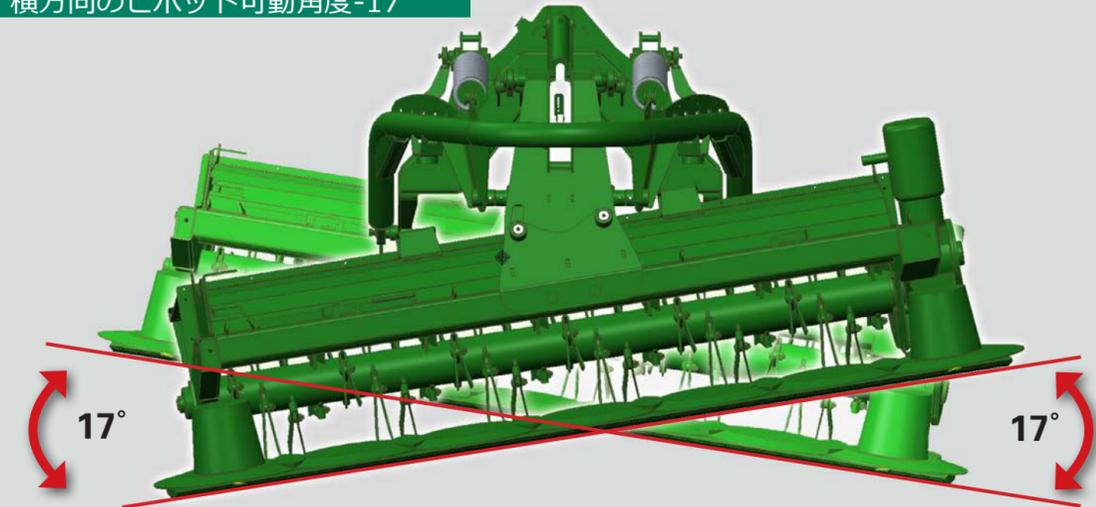
マッকেールが特許を持つスプリング補正機構は、カッターバーの接地圧が500mmの可動範囲にわたって維持されることを保証し、カッターバー角度は圃場面の変化に応じて自動的に調整します。

マッকেールプログライドのモアは、さまざまな独自の機能を備えています。特長:

- 垂直可動範囲 - 500mm
- カッターバー横方向の可動角度 - 17°
- カッターバーの自動圧力調整
- 600mm以上の枕地クリアランス
- オペレーターの視界向上



横方向のピボット可動角度-17°



垂直作業範囲- 500 mm



プログライドフロントモアは独立したサスペンションを装備することによって、モアはトラクターとは独立して自動的に上下に可動し、垂直可動範囲は500 mmです。くぼみなど圃場面の不均一な部分を刈取りする場合は、カッターバー角度が圃場面に合わせて自動的に調整されます。

PRO GLIDE

モアシリーズ

一体化されたサスペンションにより、モアユニットはフロントリンケージから完全に独立して可動します。これにより、カッターバーが圃場面の状態の変化に対して上下左右即座に反応するため、モアユニットの最適な動作パターンが可能になります。

標準セッティングでは、カッターバーは500 mmの優れた可動範囲を持ち、モアが自動的に圃場面の輪郭に合わせることができます。



マッケールの設計チームは、モアの重心を可能な限りトラクターに近づけるようにプログライドフロントモアのフレームを設計しました。その結果、圃場条件の変化に応じて俊敏に対応します。

マッケールプログライドモアのサポートフレームは、凸凹のある地形に反応して、統合されたサスペンションを駆使して圃場を滑走します。



17度の横方向ピボット角度範囲では、カッターバーに過負荷をかけることなく、圃場面の状態に応じてカッターバー角度を左右にピボット可動することができます。

不均一な圃場面や状態の悪い場所に直面すると、カッターバーは、凹凸に沿って上向き、または下向きにカットング角度を自動的に調整するので、常に高品質なカットング性能を確実にします。



マッケールプログライドのフロントモアシリーズには、特許取得済みのアクティブスプリング補正技術が採用されています。これにより、モアカッターバーは作業高さに関わらず常に均一な接地圧で作業できます。

接地圧がスプリングによって設定されるとモアが下方に動く時に特許を持つアクティブスプリング補正機構がスプリング張力を制御し、地面に対するカッターバーの重量は、作業高さに関わらず均一に保たれることを保証します。

PRO GLIDE



McHale

リヤモア

McHale PROGLIDE

リヤモア
サスペンション

3次元動作による圃場追従テクノロジー



マッケールプログライドシリーズのリヤモアは、優れたフローテーションと圃場追従を実現するために開発されました。

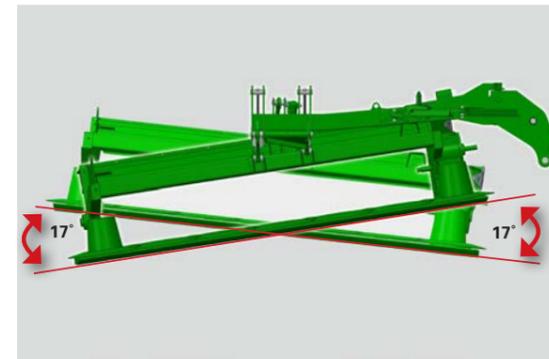
プログライドのリヤモアには、3次元の圃場追従を実現する特許取得済みの圃場適応技術が採用されています。これにより、モアは荒く、またうねりのある地形でもきれいに刈り取ることができ、最適な結果が得られます。

マッケールプログライドのリヤモアは、次のような特長を備えています。

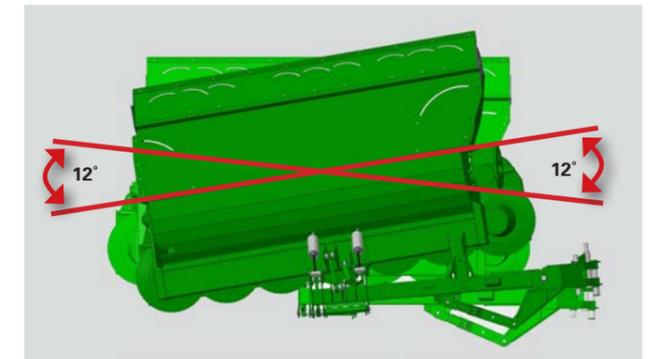
- 3次元の圃場追従
- 独自の前/後の動作
- 横方向ピボット動作が17°
- 独自のストーンプロテクション
- 優れたカッティング性能



横方向ピボット範囲-17°



前/後方向への可動 - 12°



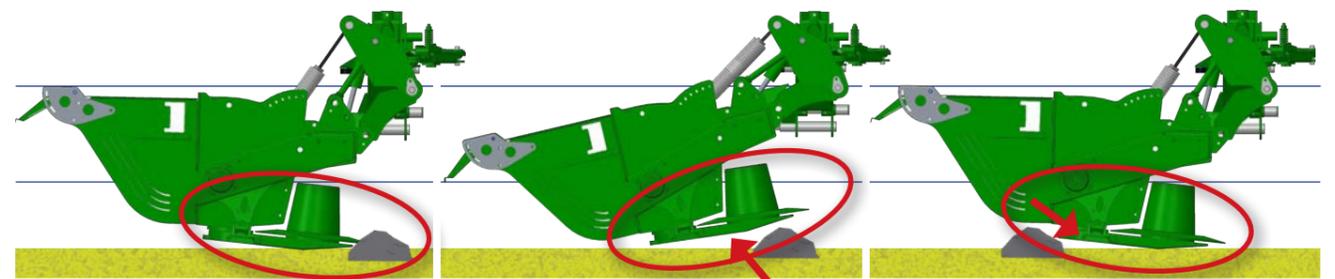
PROGLIDE R3100

リヤモアの性能と結果を最大限に発揮させるために、カッターバーとモアのサスペンションが連動し、綺麗に刈取り処理された高品質の飼料を生産します。

その結果、マッケールは独自の特許取得済み圃場適応技術を開発し、プログライドシリーズのリヤモアは3次元の圃場面追従を実現しています。これにより、モアは左から右へ移動することができ、さらにモアは圃場面状態の変化に合わせて前後に移動することができます。

独自のカッターバープロテクション

モアが障害物に遭遇した場合、本体を後方へ移動させ、カッターバーを上持ち上げます。



カッターバーが前後に移動

3次元の圃場追従



ほとんどのリヤモアにはセンターピンが装着され、これによってモアは圃場状態の変化に合わせて左右に動くことができます。マッケールプログライドの特許取得済みの3次元の圃場追従サスペンションユニットの装備によってさまざまな動作を可能にします。

- 左右に可動
- 前/後方向の可動
- 障害物に衝突した場合にカッターバーが前後に移動

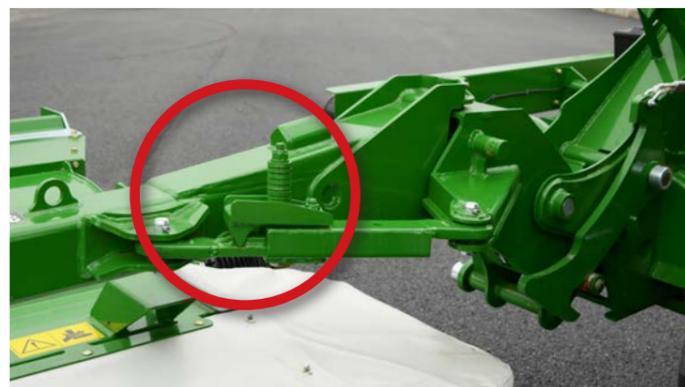
これにより、プログライドカッターバーが優れたカッティング性能を発揮します。



PROGLIDE

モアシリーズ

プログライドシリーズのリアモアには特許取得済みの圃場適応技術を採用されており、カッターバーに小さな障害物等が接触した場合には、カッターバーは後方に動き持ち上がります。この保護機構が作動することで、収穫作業時間のロスを防ぎ、作物の処理量を最大にします。これにより、スムーズでより速い刈り取り速度で作業できます。



プログライドのリアサスペンションスプリングは、圃場面の形状に合わせて即座に反応し、高速作業でも高精度なカッティングを行います。これによりモアは凸凹が多い圃場、またはうねりのある地形でも綺麗に刈取ることができ、最適な結果が得られます。モアが障害物等に当たった場合、メカニカルブレークバック（保護装置）が作動し損傷を防ぎます。

プログライドシリーズのリアモアでは、トラクターキャブからカッターバーの接地圧力を調整することができます。作動圧力はヘッドストックに装備されている圧力計で容易に確認することができます。

希望する接地圧力に設定した後、カッターバーの作業圧力は、機械式タップによってトラクターの油圧から分離させることができます。



安全な輸送のために、マッকেールプログライドは、トラクターの中心位置後部にモアを折りたたみます。モアカッターバーを110度の角度に折りたたむことで、モアの移動高さを減少します。

この位置はモアの荷重をトラクターに配分させるため、道路輸送を容易にさせると同時に、オペレーターはサイドミラーから後部をクリアに見通せます。

PROGLIDE



McHale コンビネーションモア



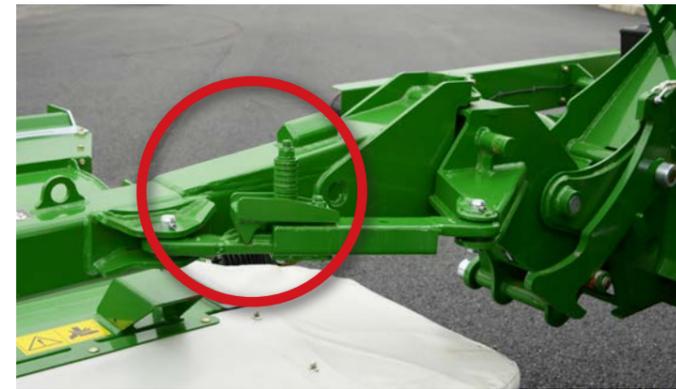
PRO GLIDE B9000

コンビネーションモアによる最高の収穫結果を得るために、カッターバーとモアのサスペンションは常に圃場面の形状に沿って活発に動き、綺麗にカッティング処理された高品質の飼料を生産します。

その結果、マッকেールは独自の特許取得済み圃場適応技術を開発し、プログライドシリーズのコンビネーションモアの3次元の圃場追従を実現しています。これはモアは左右にピボット可動することができ、カッターバーは圃場面の輪郭の変化に合わせて前後にピボット可動移動もできます。



プログライドシリーズのリアモアには特許取得済みの圃場適応技術が採用されており、カッターバーに小さな障害物等が接触した場合には、カッターバーは後方に動き持ち上がります。この保護機構が作動することで、収穫作業時間のロスを防ぎ、作物の処理量を最大にします。これにより、スムーズでより速い刈取り速度で作業できます。



プログライドのリアサスペンションスプリングは、圃場面の形状に合わせて即座に反応し、高速作業でも高精度なカッティングを行います。これによりモアは凸凹が多い圃場、またはうねりのある地形でも綺麗に刈取ることができ、最適な結果が得られます。モアが障害物等に当たった場合、メカニカルブレークバック（保護装置）が作動し損傷を防ぎます。

プログライドリアモアでは、トラクターキャブからカッターバーの接地圧力を調整することができます。作動圧力はヘッドストックに装備されている圧力計で確認することができます。

希望する接地圧力に設定した後、カッターバーの作業圧力は、機械式タップによってトラクターの油圧から分離させることができます。

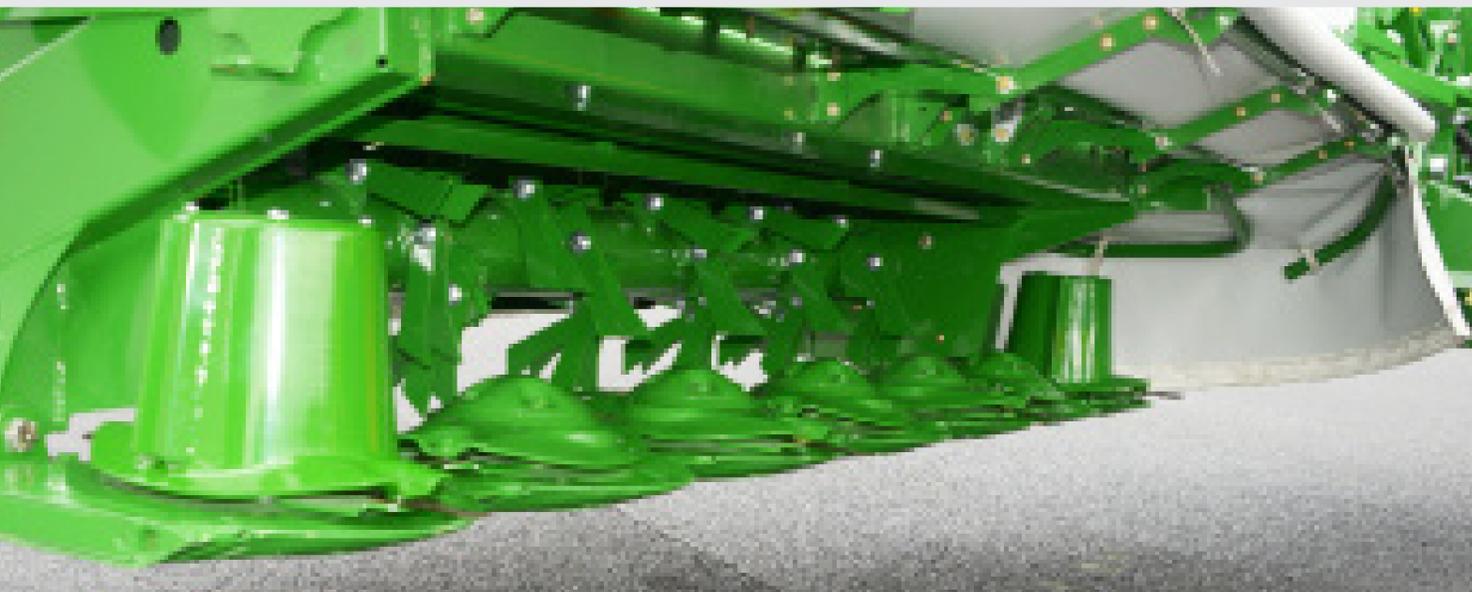


安全な輸送のために、マッকেールプログライドは、トラクターの中心位置後部にモアを垂直に折りたたみます。

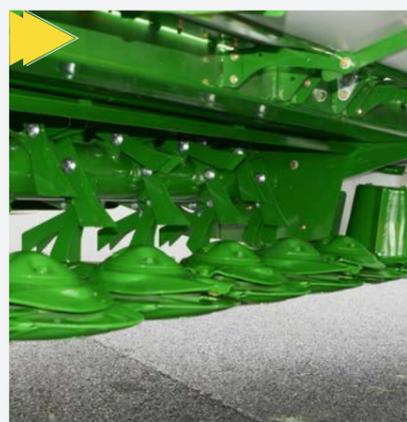
この位置はモアの荷重をトラクターに配分させるため、道路輸送を容易にさせると同時に、オペレーターはサイドミラーから後部をクリアに見通せます。



PRO GLIDE



McHale | カッターバーの特長



1 カッターバー

プログライドモアには、非常に頑丈な完全溶接カッターバーが装備されています。カッターバーには7枚のディスクが装備されています。

ディスクは補助ギヤによって駆動され、カッターバーのギヤ駆動は連続的にオイルで潤滑された環境で動作するため、静かな駆動と長期間の使用が可能です。

2 カッターバーの駆動

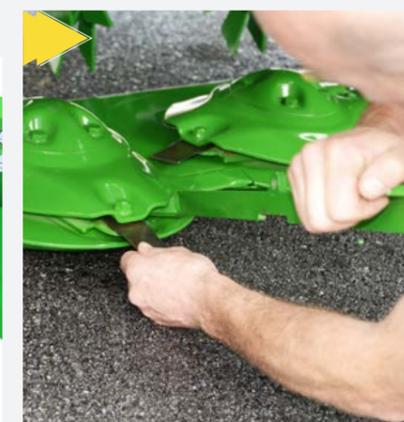
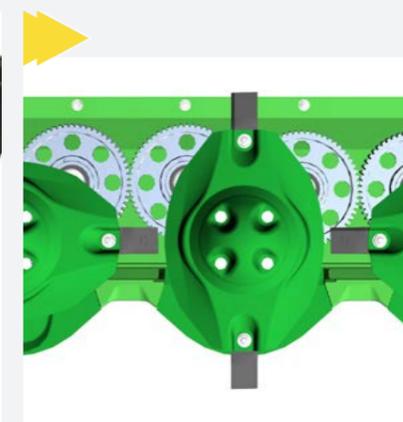
プログライドカッターバーは、モアディスク後側に装備されたヘビーデューティー右側アングルギヤボックスによって駆動します。

ギヤボックスは、オペレーターが圃場の角や凸凹の多い地形での刈取りでも、問題なく作業できる位置に装着されています。

3 ロープロファイルフロントエッジ

プログライドカッターバーは、フロントエッジが低く丸い形状で、完全に溶接されたカッターバーは圃場を滑らかに滑走させるデザインです。

傾斜したカッターバーのフロントエッジは、作物を綺麗に分離し、土壌汚染を減少させます。



4 頑丈な設計

カッターバー内の大径ヘビーデューティー駆動ギヤは、個々のディスクにある補助ギヤに動力を伝達します。

個々のディスクを駆動する補助ギヤは、カッターバーの前方位置に取付けられており、倒伏した作物でも最大のカッティング性能を発揮します。

5 ディスク

モアディスクは作物の流れを最大限にするように特別に設計されています。ブレードはセルフクリーニングを行うため、360°自由に回転します。ブレードの軌道には大きなオーバーラップがあるため、綺麗なカットを可能にします。

各モアディスクには個々に保護安全機構があるため、障害物等に衝突した場合は、駆動システムを保護するために保護メカニズムがせん断されます。

6 ブレードオーバーラップ

カッターバー表面から非常に近い場所で、オーバーラップしながら回転する110mmのモアブレードとカウンターブレードが綺麗なカットを提供します。

特殊設計されたレバーを使用し、ブレードを素早く簡単に交換することができます。モアには、スペアブレードと工具を保管するための工具箱が装備されています。



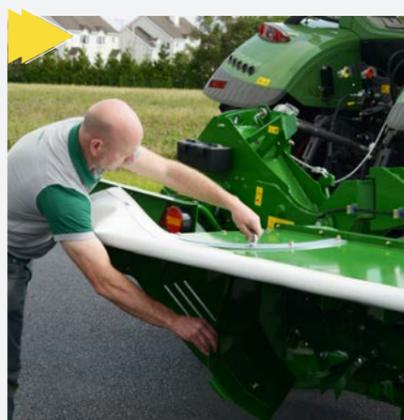
駆動ライン - 1000 rpm

マッケーラプログライドモアシリーズには、1,000rpmのヘビードューティ駆動ラインが装備されています。出力はヘビードューティ星形チューブを介して伝達され、シャフトはワルターシャイド製Pラインドライブシャフトで保護されています。

ドライブシャフトカバーは、シャフトガードの回転防止チェーンを必要とせず、すべてのグリースポイントへ非常に簡単なアクセスを可能にします。これらのガードの使用はサービス寿命が長いので、オペレーターの安全性を向上させます。



McHale | コンディショナーの特長



1 スチールティンコンディショナー

マッケーラプログライドには、作物を効率的にコンディショニングするためのスチール製コンディショナーが標準装備されています。

乾燥時間の延長又は牧草の露出を軽減するため、マッケーラプログライドはモアの作業幅を調整することで均一なスワースを作ります。

2 コンディショナーの駆動

コンディショナーは機械式のギヤボックスで駆動されます。コンディショニング速度はレバー操作で容易に操作でき、700又は1000rpmに調整できます。

スチールティンの位置は、強力なコンディショニングを可能にします。これにより、マッケーラプログライドシリーズは、高速で均一な乾燥を実現します。

3 スワース幅

オペレーターは、コンディショニング効果を調整するため、6段階の調整を選択することができます。

また、オプションのデフレクションプレートを装備することにより、スワースを幅広い、または狭い形状に作成することができます。



PROGLIDE

モアシリーズ



M-Hale PROGLIDE

技術データ



寸法と重量	F3100 フロントモア	R3100 リヤモア	B9000 モアコンディショナー
輸送幅	2.94 m	2.2 m	2.9 m
輸送長さ	1.98 m	2.2 m	2.2 m
輸送高さ	1.45 m	3.9 m	4.2 m
重量	1,250 Kg	1,470 Kg	2,480 Kg
モア仕様			
カッティング幅	3.0 m	3.0 m	8.56 m (フロントモア含む)
スワース幅	1.3 m - 2.3m	1.3 m - 2.3m	1.3 m - 2.3m
カッティングディスク数	7	7	14 (7 x 2)
ブレード数	14 (各ディスクにブレード2枚)	14 (各ディスクにブレード2枚)	28 (各ディスクにブレード2枚)
カッティング高さ	25 mm - 75 mm	25 mm - 75 mm	25 mm - 75 mm
カッティングディスク回転数	3,200 rpm	3,200 rpm	3,200 rpm
カッティングブレード	クイックチェンジ	クイックチェンジ	クイックチェンジ
コンディショナー			
コンディショナータイプ	スチールタインコンディショナー	スチールタインコンディショナー	スチールタインコンディショナー
コンディショナー回転数	700 / 1000 rpm	700 / 1000 rpm	700 / 1000 rpm
トラクターへの装着			
必要最小トラクター出力	59 kW / 80 HP	59 kW / 80 HP	186 kW / 250 HP (フロントモア含む)
リンケージアタッチメント	A-フレーム	CAT II or CAT III (リヤ) 3ポイントリンケージ	A-フレーム(フロント), CAT II 又は CAT III (リヤ) 3ポイントリンケージ
PTO 回転数	1,000 rpm	1,000 rpm	1,000 rpm
ライト	LED ライト: 12 V / 7- ピンソケット	LED ライト: 12 V / 7- ピンソケット	LED ライト: 12 V / 7- ピンソケット
油圧装置	単動油圧 フロートによる供給	フロート (最小) 付き複動油圧供給 & 単動油圧供給 (オプション)	フロート (最小) 付き複動油圧供給 & 単動油圧供給 (オプション)
最小必要油圧装置圧力	160 bar (2,320 psi)	160 bar (2,320psi)	160 bar (2,320psi)
最小必要油圧流量	20 リットル/分 @ 160 bar	20 リットル/分 @ 160 bar	20 リットル/分 @ 160 bar
作業能力	3.5 ha/h	3.5 ha/h	10 ha/h

